

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	KID ACADEMY+防府東校				公表日	令和7年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準を満たしており、指導員の見守りが十分ある中で過ごしてもらっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	学習スペースと余暇のスペースで空間的に分けております。また、絵本コーナーと余暇のスペースを離して設置し、静と動の活動にそれぞれ集中できるようにしています。	お子様にとっては過ごしやすい空間になってきました。必要に応じて視覚支援も検討していきます。トイレの段差については、転倒等の事故につながらないよう介入、見守りするよう努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		療育前や合間など、定期的な消毒・清掃活動を行っています。	子どもが集中して療育ができるよう、その時の状況に合わせて机の配置を変えたり、動線を明確化したりできるよう努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	同じ時間帯に利用されるお子様との兼ね合いを見ながら時間で区切ったり、クールダウンの場として使用できるようにしています。	子どもが気持ちの切り替えや、クールダウンができるよう相談室を使いながら対応していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	パート職員は拘束時間が短く参加できる時間が確保しづらいため、出勤した際に口頭で説明したり、資料に目を通してもらったりしています。	出来るだけ職員全員参画できるよう、日々の報連相を密にしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			集計結果を元に、今後のより良い支援を提供していけるよう努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2		職員間での疑問や解決策に早急に対応し、よりよい支援を提供していけるよう努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		今年度、開所して初めての实地調査が行われました。	第三者によって指摘された部分は早急に対応し、業務改善に努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	月1回以上、本部とのカリキュラム研修を受けております。	職員のスキルアップのために、より多くの研修が受講できるよう機会を増やしていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		来年度4月よりホームページにて掲載予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		児童発達支援管理責任者が欠如の為、本来作成すべき者によっての作成は出来ておりませんが、日頃より職員間でモニタリングを行い、保護者とのアセスメントを行いながら作成しております。	早急に求人等で呼びかけ、児童発達支援管理責任者の配置が出来るよう努めます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		共通認識が図れるよう全職員が支援計画に目を通し、全職員からの意見を反映させるよう努めています。	早急に求人等で呼びかけ、児童発達支援管理責任者の配置が出来るよう努めます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		療育前には、その日担当になった職員が前回の取り組み結果や支援計画を見ながら、個々に合わせたカリキュラムを用意しています。	早急に求人等で呼びかけ、児童発達支援管理責任者の配置が出来るよう努めます。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	社内規定された様式のものを使用しています。	お子様の状況に応じて必要だと判断した情報は、記載のない項目でも聞き取り、記録として残すようにしています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	児童発達支援管理責任者が欠如の為、本来作成すべき者によっての作成は出来ておりませんが、日頃より職員間でモニタリングを行い、保護者とのアセスメントを行いながら作成しております。	早急に求人等で呼びかけ、児童発達支援管理責任者の配置が出来るよう努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		個々の特性や理解度に合わせたカリキュラムを職員間で話し合い、選択して提供しております。	引き続き、個々の目標達成に繋がるような支援を日々提供できるよう努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		個々に合わせることに重点を置きながらも、多くのカリキュラムに取り組んでもらえるよう、豊富なツールを用意したり、同じツールでも取り組み方を変えたりして目標達成につながるような支援を日々提供できるよう努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	個別活動はどのお子様にも提供しておりますが、集団活動についてはお子様の状況に応じて取り入れております。	少しずつ集団活動の機会が増えてきています。その日の子どもの様子や、支援計画を元に対応していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	パート職員は出勤前の振り返りの場に参加できる機会が少ない為、療育時間中に要点を口頭で伝えたり、記録等を見てもらったりしながら共通認識が図れるようにしております。	引き続き、職員間で伝え漏れなどがないよう日々の報連相、連携を心掛け、職員全員で出来る限り情報共有できる場を作れるよう努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	パート職員は退勤後の振り返りの場に参加できる機会が少ない為、療育時間中に要点を口頭で伝えたり、記録等を見てもらったりしながら共通認識が図れるようにしております。	引き続き、職員間で伝え漏れなどがないよう日々の報連相、連携を心掛け、職員全員で出来る限り情報共有できる場を作れるよう努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			引き続き、達成できたことや課題となっていることを随時確認、把握をし、出来る限り詳細に記録として残します。次の支援計画作成や外部のケース会議への資料となるよう日々残していくよう努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		お子様の療育に課題があると感じた場合には、職員間で話し合いの場を設け、個々にあった支援につなげていけるよう見直しを行っています。	引き続き、日々のお子様の状況等を把握し、必要に応じて話し合いの場を設けるよう努めます。
関係機関や	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	児童発達支援管理責任者が在籍しているときには参画しています。欠如している際に会議があるときには、管理者が出席する予定です。	早急に求人等で呼びかけ、児童発達支援管理責任者の配置が出来るよう努めます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	関係機関と連携しながら、子どもの発達について必要な支援が行える体制を整えています。	ケース会議が開催される際には、連携を図りながらよりよい支援が提供できるよう努めます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	就学に向けたカリキュラムや課題を提供していますが、相談支援員さんや園によっての対応も異なるためそれに従っております。	情報共有が必要だと感じた際には、相談支援員さんを通してケース会議の場が設けられるよう提案していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		前例がない為行えておりませんが、今後はケースによっては実現可能かどうかを相談支援員さん等に相談していきたいと思えます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			発達支援センターからのお知らせ等は事業所にも掲示しております。	発達支援センターの方と交流がありませんが、今後研修に積極的に参加していきたいと思っています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	当事業所の取り組みとして前例がありません。	今後機会があれば交流の場を持ちたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や連絡帳、LINE等のツールを通して日々の様子を共有しております。	引き続き、個々の抱えている課題や現状を出来るだけ詳しく保護者に共有し、共通理解を図り、より保護者のニーズに合った支援が行えるよう努めます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		現在プログラムとしての助言等は行っておりません。今後可能であれば実現化していきたいよう努めます。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時の重要事項説明書、事業所規約等で説明を行っております。疑問点については、随時質問を受けつけております。支援プログラムについては、4月より公表予定です。	引き続き、ご家庭への丁寧な説明を心掛けて参ります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		児童発達支援管理責任者が欠如の為、本来作成すべき者よっての作成は出来ておりませんが、日頃より職員間でモニタリングを行い、保護者とのアセスメントを行いながら作成しております。	引き続き、アセスメントの機会を設け、子どもの最善の利益を考慮した上で、保護者様の意見を尊重しながら作成していきたいと思っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		送迎時等、保護者様から定期的に聞き取りを行い、必要に応じて面談の場を設けさせて頂いております。	引き続き、保護者様の不安等が解消できるよう、相談に応じていきたいと思っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	当事業所の取り組みとして前例がありません。	今後保護者様からのご意見を踏まえて、検討していきたいと思っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		保護者様からの相談、申し入れに対応できるよう職員間で話し合いの場を設け、体制を整えています。また、必要に応じて保護者様との面談の場を設けさせて頂いております。	引き続き、お子様や保護者様の不安等が解消できるよう、相談に応じていきたいと思っています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		事業所の公式LINEやInstagramを活用して日々のお子様の療育の様子を発信しています。また、月末にはマンスリーレポートを配布し、当月の取り組みを写真付きで詳しく記載しております。	引き続き、子どもの日々の取り組みが分かりやすく発信ができるよう、努めます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			引き続き、個人情報の取り扱いには十分に注意して参ります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	当事業所の取り組みとして前例がありません。	今後ご要望があれば検討していきたいと思っています。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルを設置し、職員間での研修、訓練に取り組んでおります。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	食事の提供がない為、当事業所は該当しません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットを作成し、安全に考慮した環境でサービスが提供できるようその都度職員間で話し合いの場を設けています。	引き続き、再発防止に向けて職員間で共通認識を図り、検討していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		研修後に入社した職員やパート職員にも周知する機会を設けていき、全職員で対応していけるよう努めます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	4		今後、支援計画の備考欄に記載していきたいと思います。	